

2008年9月29日

報道関係各位

モリタ 大型スクラップ用切断処理機「1250HAK 型ギロチンプレス」を開発

※「ギロチン・ギロチンプレス」はモリタの登録商標です。

株式会社モリタ(本社:東京・大阪、代表取締役社長:中島正博、東証・大証1部)は、大型スクラップ用切断処理機の新製品「1250HAK 型ギロチンプレス」を開発、今期より販売を開始致します。

「1250HAK 型ギロチンプレス」は、新たに開発した油圧システムを採用することで、作業効率が大幅に向上致しました。切断スピードにおいては1分間に4回(無負荷運転時)と従来の標準モデルと比較して40%以上能力をアップ。また、環境への配慮を開発段階で重視したため、このようなパワーアップを行いながらも、消費電力の40%削減を実現しています。

当社の「ギロチンプレス」シリーズは、建築廃材、大型構造物から長尺物、など幅広いスクラップ切断処理に対応し、優れた能力を発揮することから、当分野の製品においてN0.1の納入実績を誇っています。

「1250HAK 型ギロチンプレス」は、既に第一号機の今期中の納入が決定。これには先に開発致しました、インターネット回線で機械の稼動状況を監視する最新の保守点検システム「リモートメンテナンスシステム」を装備。遠隔地への迅速なアフターサービスを実現するなど、安定した機械稼動を提供致します。



■「高機能 1250HAK 型ギロチンプレス」の特徴

- ・ 油圧回路・油圧制御の効率化を図り、電動機容量を40%削減
- ・ 新たに開発した油圧ポンプとポンプ制御技術で低騒音化を実現
- ・ パワーユニットを一新し、低振動化に配慮した機器配置を採用
- ・ 遠隔地への迅速なアフターサービスを可能とする新開発の「リモートメンテナンスシステム」に対応

※「リモートメンテナンスシステム」詳細につきましては、当社ホームページをご参照下さい。

本件に関するお問合せ先
株式会社モリタ 広報室 担当:浦野 TEL:03-5777-5088
E-mail: Hiroko.Urano@morita119.com